



開催概要

尾張旭市を暮らしやすく、魅力的なまちにするため、市民や事業者の皆さん等に参加いただき、市民ワークショップ「あさひまちづくり会議」を開催しました。ワークショップの成果は、尾張旭市第六次総合計画の検討の場に提示され、計画に反映されます。

8月20日に開催した第1回では、尾張旭市の魅力について意見交換をしました。9月10日に開催した第2回では、尾張旭市民を仮定して、第三者の視点から将来のまちづくりに関するキャッチコピーを考えました。

今回は、参加者一人ひとりが将来尾張旭市で実現したい希望を叶えるための方策を考えました。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を徹底して開催しました。

- ◆日時：2022年10月1日(土)10:00~12:00
- ◆会場：尾張旭市役所南庁舎3階 講堂
- ◆参加者数：33名



▲市長あいさつ

当日のプログラム

■第3回「心豊かな暮らしをみんなで実現しよう！」

- ①前回の振り返り：前回までを振り返り、今回のプログラムを説明しました
- ②アイスブレイク：どのような人が参加しているかを確認しました
- ③グループワーク：将来、尾張旭市で実現したいことを考え、実現に向けて支援・応援できることを考えました
- ④全体ワーク：将来の希望を叶えるために参加者全員で意見交換をしました
- ⑤市長あいさつ：森市長からあいさつをいただき、参加者全員と記念撮影をしました



意見

参加者は6グループに分かれ、尾張旭市で実現したいことを考えました。グループワークや全体ワークで、他の参加者の実現したいことに対して、支援できること・応援できることを出しました。

3年後、尾張旭市民が
オーガニック給食を導入しているといい

- 課題
- ・有機農地の確保
 - ・担い手、気運の高まり



日本一の
鯉節屋を
知っています

給食事業を
している人
を知っています

メニュー
開発の支
援ができます

10~20年後、私は
城山球場に中日ドラゴンズを招待したい

- 課題
- ・どうすれば招待できるか？
 - ・交通整備、観戦者は？



ドラゴンズの
熱いファン
を紹介でき
ます!

熱愛あるの
み!周りを
巻き込んで
いくこと

商工会
を巻き
込む

3年後、私は家庭菜園をしたい

- 課題
- ・家族の分からでも作っていききたい
 - ・自給率の低い国は輸入に頼っているから

農協に相談したり、農地をたくさん持っている人に貸してもらえといういな

私が、ネットや本や相談できるところに一緒に行って一から土づくりをすることができ!



10年後、私はデンマークビールを
売る酒屋さん(店舗・ECショップ問わず)をしたい

- 課題
- ・起業の仕方がわからない
 - ・輸入業務の知識がない
 - ・免許や法の知識がある?

観光協会でボランティアをしているので何か知恵を借りられるかも

起業塾で勉強されカフェを開業した知人がいる

開店時のチラシを作成できる

商工会、中小企業診断士につながるかも

10年後、私は市の公園を
イベントで楽しめる場所にしたい

- 課題
- ・やる人・やりやすさ



イベントを積極的に進める

やりたいママさんはたくさんいます

関わりたい大学生多そう

3年後、私はギャラリー運営したい

- 課題
- ・古民家修繕
 - SNSを通じて宣伝します

植栽作業あれば手伝います

作った野菜を提供します

ギャラリー作家さんを知っているので紹介できます



感想

3回のワークショップを通してまちづくりのアイデアが集まりました。別れを惜しみながらも無事最終回を終えることができました。

- この後もまちづくりに関わっていきたいと思えました
- 自分がやりたいことをたくさんの方が応援してくれるということを実感しました

